

東京大學  
東洋文化研究所

要覽第七号

東京大学東洋文化研究所



6413042737

INSTITUTE OF ORIENTAL CULTURE

UNIVERSITY OF TOKYO

1982

C3

45

7



東京大学東洋文化研究所

〒113 東京都文京区本郷 7-3-1  
電話 (03) 812-2111 内線 5830, 5831  
国際電報略号 TODAITOYO TOKYO





東京大学東洋文化研究所



# 東洋文化研究所要覽

## 目 次

I	沿 革	1
II	組 織	3
III	構 成 員	6
IV	研 究 活 動	9
	A 昭和 56 年度研究計画	9
	B 本学内教育参加	16
	C 外国出張	23
	D 出 版	32
	E 個人研究業績	37
	F 函 書	47
V	東洋学文献センター	51
	附 録 住 所 録	55

# I 沿 革

本研究所は昭和 16 年 11 月 26 日、東洋文化の総合的研究を目的として、東京(帝国)大学に付置創設され、本年をもって満 40 年を迎えるに至った。

当初は哲学・文学・史学部門、法律・政治部門、経済・商業部門の 3 部門で、附属中央図書館内に研究室、書庫、事務室を置いて発足した。昭和 24 年、新たに 3 部門が増設されたのを機会に組織を細分化し、哲学・宗教部門、文学・言語部門、歴史部門、美術史・考古学部門、法律・政治部門、経済・商業部門の 6 部門に再編成した。同時に本拠を文京区大塚町の外務省所管の旧東方文化学院の一部に移し、これまでの附属図書館研究室の一部を分室とし、研究の発展をはかった。

ついで昭和 26 年、人文地理学部門と文化人類学部門が加えられたが、アジア諸地域の基礎的研究の重要性が増すに伴い、従来の諸科学の専門体系による部門構成を、地域区分を軸とした将来計画のもとで汎アジア経済部門、汎アジア人文地理学部門、汎アジア文化人類学部門、東アジア政治・法律部門、東アジア歴史部門、東アジア美術史・考古学部門、東アジア哲学・宗教部門、東アジア文学部門の 8 部分に再編成し、さらに地域部門の増設計画を立てた。そして昭和 35 年には南アジア政治・経済部門、昭和 39 年には東北アジア部門、昭和 43 年には西アジア歴史・文化部門、昭和 48 年には東南アジア経済・社会部門の増設をみ、ようやく計 13 部門を擁するに至った。

なお昭和 41 年には東洋学に関する文献、情報の収集と国内外の研究者に対する各種のドキュメンテーション・サービスを目的として、東洋学文献センターが附属施設として設置された。

この間本研究所の研究施設は、遺憾ながら 20 年にわたって仮住いの状態のままであったが、本郷構内に建物を新築する計画が具体化し、第 1 期工事で昭和 40 年研究

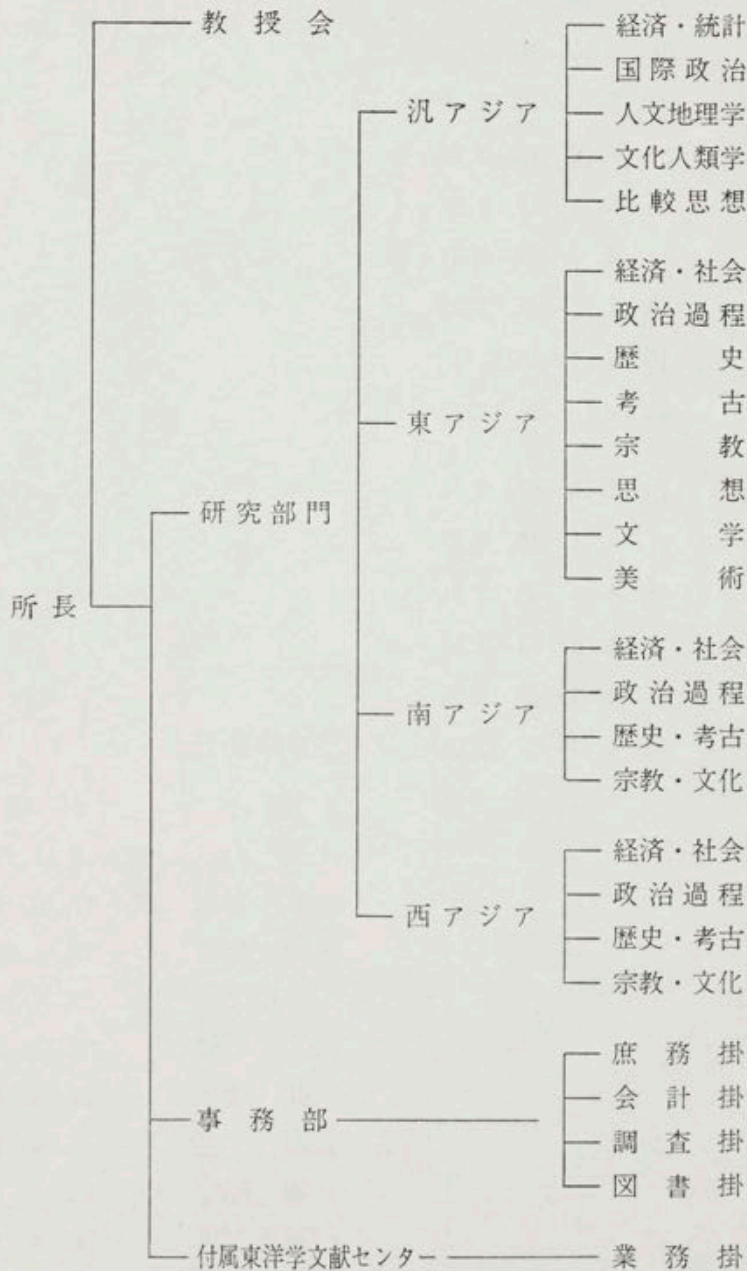


室の一部と事務室を移転し、第2期工事によってさらに研究室、書庫、東洋学文献センターの移転を行ない、昭和43年には第3期工事によって残りの移転を完了するに至った。

本研究所の研究者は各々の専門に従った独自の課題のもとに研究活動を進めながら、しかし各専門分野の孤立を避け、アジア諸地域の総合的研究を推進するという所期の目的を達成するために、合同の研究会、各種研究班によって学際的研究を育て、また研究陣容の補強を図るため、学内外の専門研究者に研究を委嘱し、協力を求める方針をとってきた。

しかしながら、アジア諸地域全体が世界史的転換期に入った今日、本研究所がわが国のアジア研究の中核的、指導的役割を十分に果たすためには、研究内容の充実、規模の拡大を含む組織上の再編成を行なう緊急の必要性に迫られ、本年昭和56年より新しい構想にもとづくいわゆる大部門制を採用し、これまでの13部門を、汎アジア部門、東アジア部門、南アジア部門、西アジア部門の4部門に統合し再出発することになった。

# II 組織



## 歴代所長

氏名	在職期
桑田 芳蔵	昭和16.11.26—18. 3.31
宇野 円空	18. 4. 1—21.10. 5
戸田 貞三	21.10. 6—22. 9.30
辻 直四郎	22.10. 1—29. 3.31
仁井田 陸	29. 4. 1—33. 7.10
飯塚 浩二	33. 7.11—35. 7. 9
結城 令聞	35. 7.10—37. 7. 9
江上 波夫	37. 7.10—39. 7. 9
飯塚 浩二	39. 7.10—40. 2.28
小口 偉一	40. 3. 1—41. 3.31
川野 重任	41. 4. 1—43. 3.31
小口 偉一	43. 4. 1—45. 3.31
泉 靖一	45. 4. 1—45.11.15
川野 重任 (事務取扱)	45.11.16—45.12.17
鈴木 敬	45.12.18—47. 3.31
荒 松雄	47. 4. 1—48. 3.31
窪 徳忠	48. 4. 1—49. 3.31
佐伯 有一	49. 4. 1—51. 3.31
大野 盛雄	51. 4. 1—53. 3.31
深井 晋司	53. 4. 1—55. 3.31
中根 千枝	55. 4. 1—現在

## 名誉教授

米沢 嘉圃	(昭 44)
江上 波夫	(昭 44)
小口 偉一	(昭 45)
橋本 秀一	(昭 45)
川野 重任	(昭 47)
窪 徳忠	(昭 49)
鈴木 敬	(昭 56)

## 歴代事務長

氏名	在職期
山高 力三	昭和 16.11.27—17. 9.30
根本 喜蔵	17.10. 1—19. 7. 9
長内太郎吉	19. 7.10—29. 7.15
工藤松之助	29. 7.20—38.10.31
宮本 健	38.11. 1—44. 2.28
新井 康次	44. 3. 1—49. 3.31
斎藤 益	49. 4. 1—52. 6.30
三浦 皓守	52. 7. 1—56. 3.31
伊東秀三郎	56. 4. 1—現在



### Ⅲ 構 成 員

所 長	中 根 千 枝	
教 授	荒 松 雄	中世インド史
教 授	佐 伯 有 一	近世中国社会経済史
教 授	大 野 盛 雄	人文地理学・西アジアの農村研究
教 授	中 根 千 枝	社会人類学・アジア諸社会
教 授	深 井 晋 司	ペルシヤ美術史
教 授	尾 上 兼 英	中国文学
教 授	関 寛 治	国際政治・平和学
教 授	山 崎 利 男	古代インド史
教 授	松 井 透	近代インド経済史
教 授	鎌 田 茂 雄	仏教学
教 授	池 田 温	古代・中世中国史
教 授	山 田 三 郎	農業経済学・アジア農業論
教 授	松 丸 道 雄	古代中国史
教 授	田 仲 一 成	中国演劇史
助教授	中 村 廣 治 郎	イスラム学
助教授	戸 田 禎 佑	中国美術史
助教授	松 谷 敏 雄	西アジア先史学
助教授	蜂 屋 邦 夫	中国思想史
助教授	猪 口 孝	比較政治学・政治経済学
助教授	原 洋 之 介	経済発展論
助教授	加 納 啓 良	東南アジア経済史

助手	山之内正彦	中国詩
助手	持井康孝	古代中国史
助手	森山茂徳	東アジア国際関係史
助手	中里成章	インド社会経済史
助手	小川裕充	中国美術史
助手	加藤博	エジプト経済史
助手	清水展	社会人類学
助手	久保亨	近代中国経済史
助手	福井清一	農業経済学

事務部

事務長 伊東秀三郎  
 総務主任 中屋俊一

庶務掛

掛長 小杉雄二  
 事務官 益子一郎  
 " 安富博  
 技官 和田秀雄  
 技官 丸山勉  
 用務員 林八重子

会計掛

掛長 井上恒和  
 主任 岡徹  
 事務官 吉田正  
 " 山本日出夫

調査掛

主任 松葉治子  
 技官 古山学  
 " 千代延恵正  
 事務官 木村源蔵  
 " 大熊明子

図書掛

掛長 植谷忠雄  
 事務官 中村隆治  
 " 中村摩利子  
 " 中田実  
 " 中村敬子  
 " 工藤一郎  
 " 長野真  
 " 芳賀満子  
 " 新居弥生

東洋学文献センター

センター長(併) 中根千枝(所長)  
 センター主任(併) 尾上兼英(教授)  
 講師 初見昇  
 " 和泉新  
 業務掛長 中里富三男  
 事務官 畦浦美矢子  
 " 神田百合枝  
 " 渋谷義治



## IV 研究活動

### A. 昭和 56 年度研究計画

#### 〔部門研究〕

汎アジア部門      アジア諸地域における社会・文化の変容過程

#### I. アジア諸地域における固有文化の形式とその変容

1. 中根 千枝      アジア諸社会の比較研究
2. 松谷 敏雄      アジアの先史時代における農耕村落の研究
3. 清水 展      アジアのネグリート社会の比較研究

#### II. アジア農村における社会・経済の変容過程

4. 大野 盛雄      農村の社会経済構造の比較研究
5. 山田 三郎      経済発展過程における農業経済の変容に関する比較研究
6. 原 洋之介      東アジアと東南アジアの農村経済の比較
7. 福井 清一      アジアの地主小作制度の比較研究

#### III. アジアにおける政治変動と国際関係

8. 関 寛治      世界軍事バランスの変動と太平洋・インド洋地域における紛争
9. 猪口 孝      西太平洋諸国における政治経済変動と対外政策
10. 森山 茂徳      東北アジアの国際環境と日韓関係

## 東アジア部門

### I. 東アジアにおける国家権力と社会経済構造

1. 佐伯 有一 明清社会経済構造の史的性格
2. 久保 享 民国時代の社会経済構造
3. 池田 温 東アジア国制の比較史
4. 松丸 道雄 中国古代国家の形成
5. 持井 康孝 先秦時代の社会と経済

### II. 東アジアにおける庶民文化の形成と展開

6. 鎌田 茂雄 庶民信仰の宗教形態
7. 蜂屋 邦夫 庶民における三教思想の受容
8. 尾上 兼英 明清の説書・説唱演芸
9. 田仲 一成 明清の地方劇
10. 戸田 禎佑 宋元の民間画工
11. 小川 裕充 絵画制作に占める庶民の役割

## 南アジア部門 南アジアにおける支配体制と社会構造

1. 山崎 利男 古代インド社会の変貌
2. 荒 松雄 インド史における民族・宗教と国家
3. 中里 成章 19世紀インドの農村構造
4. 松井 透 イギリス植民地支配と南アジア社会
5. 加納 啓良 インドネシアにおける植民地支配と農業問題
6. 山田 三郎 東南アジア農業社会の比較研究
7. 原 洋之介 東南アジアの支配体制と経済発展
8. 辛島 昇 南インドにおける国家と社会

## 西アジア部門 西アジア文化の歴史的形成と現代的課題

1. 大野 盛雄 西アジアの農村構造
2. 加藤 博 近代エジプトの土地税制
3. 中村廣治郎 イスラムの倫理思想
4. 深井 晋司 パルティア・ササン朝時代の墳墓の副葬に関する諸問題



5. 松谷 敏雄 北メソポタミアにおける農耕・牧畜の起源について  
 6. 佐藤 次高 イクター制の成立

## 〔班研究〕

## アジア諸社会における儀礼の意味と機能 主任 中根

1. 中根 千枝 社会集団と儀礼の機能  
 2. 柳川 啓一 社会変動と儀式  
 3. 伊藤 亜人 韓国における儀礼の機能  
 4. 清水 展 ルソン北部山岳民族の農耕儀礼  
 5. 関本 照夫 ジャワにおける儀礼の機能  
 6. 内堀 基光 サラワクにおける儀礼の解釈  
 7. 梶原 景昭 北部タイ農村における儀礼行動の意味  
 8. 船曳 建夫 マレクラ島における儀礼組織

## アジア農村の現地研究の方法と過程 主任 大野

1. 大野 盛雄 生活様式論——イラン, アフガニスタン——  
 2. 宮口 侗迪 山村の構造——日本——  
 3. 友杉 孝 むらと水利——タイ——  
 4. 菱口 善美 村落と農業——インド, バングラデシュ——  
 5. 後藤 晃 灌漑農業論——西アジア——

## アジアの安全保障とその国内的基盤 主任 猪口

1. 猪口 孝 アジア諸国の政治経済システム  
 2. 鴨 武彦 アジア・太平洋地域の相互依存  
 3. 関 寛治 アジアにおける平和設計とその国内的条件  
 4. 進藤 栄一 アジアの冷戦と同盟関係  
 5. 高木誠一郎 安全保障のアジア的特質  
 6. 薬師寺泰蔵 アジア諸国の政策決定過程  
 7. 山本 吉宣 東アジアの国際政治経済

## アジアにおける国内政治と国際政治 主任 関

1. 関 寛治 インド洋地域における開発と紛争  
 2. 石井 明 中ソ関係とその国内的基盤

- |           |                        |
|-----------|------------------------|
| 3. 石田 雄   | 政治権力の正統性の比較文化的考察       |
| 4. 石田千代子  | 国際システムの情報探索とシミュレーション   |
| 5. 板垣 雄三  | イスラム社会運動と国際政治          |
| 6. 衛藤 潘吉  | 中国における政策形成             |
| 7. 坂本 義和  | 世界秩序とイスラム的社会変革         |
| 8. 高柳 先男  | ヨーロッパとアジアにおける安全保障の比較研究 |
| 9. 平野健一郎  | 日中関係とその国内政治的要因         |
| 10. 藤井 昇三 | 中国における軍部と政治            |
| 11. 森 利一  | ソ連外交とインド洋世界            |
| 12. 山影 進  | 東南アジアにおける相互依存          |

植民地主義と民族形成 主任 松井

- |             |                        |
|-------------|------------------------|
| A. 1. 松井 透  | 南アジア経済発展における植民地主義と民族形成 |
| 2. 山崎 利男    | インドにおける植民地主義と法制        |
| 3. 長崎 暢子    | イギリス植民地支配とインドの民族形成     |
| 4. 中村 平治    | 現代インド政治における分化と統合       |
| 5. 原 洋之介    | タイにおける植民地主義と経済開発       |
| 6. 古田 元夫    | 抗仏期におけるベトナム人諸階層の民族意識   |
| 7. 白石 昌也    | ベトナム政治史における民族形成        |
| 8. 加納 啓良    | オランダのインドネシア支配と農民       |
| 9. 白石 隆     | インドネシアにおける植民地主義と民族形成   |
| 10. 永積 昭    | インドネシア独立運動             |
| 11. 高橋 彰    | 戦前の東南アジア経済と日本          |
| B. 1. 佐伯 有一 | ブロック経済構想の史的性格          |
| 2. 田中 正俊    | 世界史における中国産業構造の特質       |
| 3. 小島 晋治    | 近代における農民運動の特質          |
| 4. 中川 学     | 中国の変革過程における華僑の歴史的役割    |
| 5. 森山 茂徳    | 朝鮮総督府官僚の行動様式           |
| 6. 梶村 秀樹    | 同化と分断                  |
| 7. 姜 徳 相    | 三一運動論                  |
| 8. 戴 国 輝    | 台湾における労働力問題            |
| 9. 若林 正文    | 日本統治下台湾における民族運動        |
| 10. 小島 麗逸   | 満州における労働力問題            |



11. 加藤 祐三 植民政策の系譜
12. 小杉 修二 国民党政権の史的性格

#### 殷周時代の文物とその社会構造 主任 松丸

1. 松丸 道雄 殷周青銅器の製作事情とその国家構造
2. 持井 康孝 窖藏青銅器から見た殷周時代の社会構造
3. 飯島 武次 殷周時代の玉器と青銅器との関わり
4. 量 博満 倣銅土器製作の社会的背景
5. 後藤 均平 殷周時代の出土遺物と都邑
6. 小倉 芳彦 新出竹帛書と古典
7. 宇都木 章 出土遺物による殷周史再構の可能性

#### 中国古代礼制の研究 主任 蜂屋

1. 蜂屋 邦夫 儀礼疏における礼制の実際とその論証論理
2. 竹田 晃 儀礼疏の言語よりみた唐代の礼制思想
3. 佐藤 保 古代礼法の解釈を通してみた唐代の礼意識
4. 今西 凱夫 三礼疏における礼解釈の比較研究
5. 沢田多喜男 儀礼疏を通じてみた疏学の位置づけ
6. 森 秀樹 礼思想における鄭玄と賈公彦解釈学の比較研究
7. 高橋 忠彦 鄭玄三礼注との比較よりみた儀礼疏の礼思想

#### 三教交渉史研究 主任 鎌田

1. 蜂屋 邦夫 六朝時代における三教交渉の展開
2. 末木文美士 六朝思想と仏教
3. 福井 文雅 道教思想の形成と仏教
4. 平井 俊栄 中国三論宗の形成と展開
5. 鎌田 茂雄 唐代における仏教と道教
6. 神塚 淑子 唐代における道教の展開

#### 東アジア古代官僚制の研究 主任 池田

1. 松丸 道雄 殷周時代の政治機構
2. 太田 幸男 秦漢官吏支配の形成
3. 池田 温 隋唐官人制の構造と特質

- |          |              |
|----------|--------------|
| 4. 青木 和夫 | 職員令の構成と性格    |
| 5. 吉田 孝  | 日本律令の構成と特質   |
| 6. 石上 英一 | 日本律令官制の形成と展開 |

中国戯曲小説研究 主任 田仲

- |          |                 |
|----------|-----------------|
| 1. 田仲 一成 | 『西廂記』諸注の研究      |
| 2. 青山 宏  | 『西廂記』語彙の研究      |
| 3. 尾上 兼英 | 『西廂記』と明治小説の比較研究 |
| 4. 菊田 正信 | 『西廂記』俗語の研究      |
| 5. 伝田 章  | 『西廂記』版本の研究      |
| 6. 平山 久雄 | 『西廂記』曲韻の研究      |
| 7. 吉川 良和 | 『西廂記』演出の研究      |

17世紀以降東アジア公私文書の総合的研究 主任 佐伯

- |          |  |
|----------|--|
| 1. 佐伯 有一 | 17世紀以降東アジア公私文書の政治経済学的分析                      |
| 2. 浜下 武志 | 17世紀以降東アジアにおける金融経済の構造的展開<br>——欧米の公私書分析を含めて—— |
| 3. 滋賀 秀三 | 伝統中国における裁判準則としての法                            |
| 4. 柳田 節子 | 宋元期政典史料の史的地位と背景                              |
| 5. 中山 美緒 | 明清期経済の動態と意識の構造                               |
| 6. 寺田 浩明 | 明清期の契約法慣習の論理                                 |
| 7. 久保 亨  | 民国時代公私文書より見た経済構造                             |
| 8. 林 正子  | 台湾省檔案の社会史的研究                                 |
| 9. 宮嶋 博史 | 朝鮮近代公私文書の社会経済的分析                             |

現存する中国絵画の包括的再検討と国内に於ける補足的調査 主任 戸田

1. 戸田 禎祐
2. 海老根聡郎
3. 小川 裕充
4. 嶋田 英誠
5. 関口 正之
6. 湊 信幸
7. 柳沢 孝

特に専門別の分担を定めず、既に蒐集の写真資料により検討を加える



## 1930年代左翼文芸運動 主任 尾上

- |          |                      |
|----------|----------------------|
| 1. 尾上 兼英 | 左翼文芸運動における民間形式の発掘と継承 |
| 2. 芦田 肇  | 日本プロレタリア文芸理論と左翼文芸運動  |
| 3. 伊藤 虎丸 | 左翼文芸運動と郁達夫           |
| 4. 尾崎 文昭 | 北京文壇からみた上海の左翼文芸運動    |
| 5. 近藤 龍哉 | 左翼作家連盟東京支部           |
| 6. 佐治 俊彦 | 左翼作家連盟に影響をあたえた諸思潮    |
| 7. 新村 徹  | 左翼文芸運動における大衆化と通俗化    |
| 8. 丸山 昇  | 30年代左翼文芸運動における魯迅     |

## 南アジア史における宗教と社会 主任 荒

- |          |                      |
|----------|----------------------|
| 1. 荒 松雄  | 南アジア史におけるイスラム神秘主義の展開 |
| 2. 鈴木 斌  | インドにおけるスーフィー廟の機能と役割  |
| 3. 山崎 利男 | ヒンドゥー法と宗教            |
| 4. 田中 敏雄 | ヒンディー文学と宗教           |
| 5. 月輪 時房 | インドにおける宗教建造物の構造      |

## ササン王朝時代における摩崖浮彫の研究 主任 深井

- |          |                       |
|----------|-----------------------|
| 1. 深井 晋司 | ターク・イ・プスターンにおける様式的研究  |
| 2. 田辺 勝美 | ターク・イ・プスターンにおける研究史    |
| 3. 杉山 二郎 | ターク・イ・プスターンにおける図像学的研究 |
| 4. 道明三保子 | ターク・イ・プスターンの服飾の諸問題    |
| 5. 木全 敬蔵 | 摩崖浮彫の写真実測             |

## イスラム文明の総合的研究 主任 中村

- |          |                |
|----------|----------------|
| 1. 中村廣治郎 | 中世イスラムとガザーリー   |
| 2. 大野 盛雄 | イスラムと農民の生活様式   |
| 3. 加藤 博  | 19世紀エジプトの土地所有権 |
| 4. 奴田原睦明 | 現代アラブ小説にみるイスラム |
| 5. 永田 雄三 | 16世紀トルコの封建社会   |
| 6. 中原 道子 | 東南アジアにおけるイスラム法 |
| 7. 松本 耿郎 | ペルシア・イスラム思想    |

## B. 本学内教育参加

〔昭和 52 年度〕

### 1. 大学院

#### (1) 人文科学研究科

(氏名)	(専門課程)	(課目)
尾上教授	中国語中国語文学	宋元話本の研究
荒教授	東洋史学	フランソワ・ベルニエ旅行記の研究
佐伯教授	東洋史学	中国資本主義史研究
佐伯教授	東洋史学	東洋史学の諸問題
山崎教授	東洋史学	インド法制史研究
池田教授	東洋史学	中国租佃文書研究
鎌田教授	印度哲学	中国仏教文献講読
深井教授	美術史学	西アジア美術の諸問題
田仲助教授	中国語中国文学	西廂記
松丸助教授	東洋史学・中国哲学	殷周青銅器銘文研究
蜂屋助教授	中国哲学	弘明集研究
中村助教授	宗教学宗教史学	アラビア語イスラム文献講読
戸田助教授	美術史学	中国絵画史の諸問題

#### (2) 法学政治学研究科

関教授	政治学	現代日本外交政策
-----	-----	----------

#### (3) 社会学研究科

松井教授	国際関係論	南アジア近代史研究
中根教授	文化人類学	社会構造の分析
中根教授・松谷助教授	文化人類学	フィールド・ワークに関する研究指導

#### (4) 理学系研究科

大野教授	地理学	地誌研究Ⅱ
大野教授・田中助教授	地理学	地誌学演習Ⅳ

#### (5) 農学系研究科



山田教授 農業経済学 国際農業論

## 2. 学部

### (1) 文学部

鈴木教授 美術史学 特殊講義  
 中根教授 社会学 文化人類学  
 大野教授 一般(学部共通) イスラームの社会と文化  
 松丸助教授 一般(学部共通) 中国の社会と文化  
 中村助教授 宗教学宗教史学 特殊講義

### (2) 教養学部

中根教授 教養学科 社会の構造  
 関教授 教養学科 自然科学(一般)Ⅲ「情報」  
 山田教授 教養学科 経済発展論  
 松谷助教授 教養学科 技術発達史

### (3) 農学部

山田教授 農業経済学 特別講義

〔昭和 53 年度〕

## 1. 大学院

### (1) 人文科学研究科

尾上教授 中国語中国文学 宋元話本の研究  
 荒教授 東洋史学・宗教学宗教史学 中世インドの宗教と社会  
 荒教授 東洋史学 東洋史学の諸問題  
 佐伯教授 東洋史学 中国資本主義史研究  
 山崎教授 東洋史学 インド法制史研究  
 池田教授 東洋史学 中国古文書資料研究  
 鎌田教授 印度哲学 中国仏教文献講読  
 鈴木教授 美術史学 中国絵画史研究—明代—  
 田仲助教授 中国語中国文学 西廂記  
 松丸助教授 東洋史学・中国哲学 殷周青銅器銘文研究

蜂屋助教授	中国哲学	晋書隱逸伝研究
中村助教授	宗教学宗教史学	アラビア語イスラム文献講読
(2) 法学政治学研究科		
関 教授	政治学	現代日本の外交政策
(3) 社会学研究科		
松井教授	国際関係論	南アジア近代史研究
中根教授	文化人類学	社会構造の分析
中根教授・松谷助教授	文化人類学	フィールド・ワークに関する研究指導
(4) 農学系研究科		
山田教授	農業経済学	国際農業論

## 2. 学部

### (1) 文学部

中根教授	社会学	文化人類学
戸田助教授	美術史学	特殊講義

### (2) 教養学部

中根教授	教養学科	社会の構造
山田教授	教養学科	経済発展論

### (3) 全学一般教育ゼミナール

猪口助教授	政治と経済〔2.4〕
-------	------------

〔昭和 54 年度〕

## 1. 大学院

### (1) 人文科学研究科

尾上教授	中国語中国文学	説唱詞話研究
池田教授	東洋史学	中国古代之書史料研究
佐伯教授	東洋史学	中国資本主義の諸問題
荒 教授	東洋史学・宗教学宗教史学	中世インドの宗教と社会
山崎教授	東洋史学	インド法制史研究
鎌田教授	印度哲学	中国仏教文献講読



## IV 研 究 活 動

鈴木教授	美術史学	中国絵画史研究
深井教授	美術史学	ペルシャ古代陶磁器
田仲助教授	中国語中国文学	西廂記
松丸助教授	東洋史学・中国哲学	殷周青銅器銘文研究
蜂屋助教授	中国哲学	六朝の隠逸伝
中村助教授	宗教学宗教史学	アラビア語イスラム文献講読
(2) 法学政治学研究科		
関教授	政治学	地球政治学構想の再検討
猪口助教授	政治学	計量政治学演習
(3) 社会学研究科		
松井教授	国際関係論	南アジア近代史研究
中根教授	文化人類学	社会構造の分析
中根教授・松谷助教授	文化人類学	フィールド・ワークに関する研究指導
(4) 農学系研究科		
山田教授	農業経済学	国際農業論
2. 学 部		
(1) 文学部		
中根教授	社会学	文化人類学
中村助教授	宗教学宗教史学	特殊講義
戸田助教授	美術史学	特殊講義
(2) 教養学部		
中根教授	教養学科	社会の構造
松井教授	教養学科	植民地論
山田教授	教養学科	経済発展論
松谷助教授	教養学科	先史時代の世界史
田仲助教授	教養学科	アジアの芸術
(3) 法学部		
山崎教授	法律学	比較法原論

〔昭和 55 年度〕

## 1. 大学院

### (1) 人文科学研究科

尾上教授	中国語中国文学	説唱文学研究
池田教授	東洋史学	宋麗通交史料研究
荒教授	東洋史学・宗教学宗教史学	中世インドの宗教と社会
佐伯教授	東洋史学	中国資本主義の諸問題
松丸教授	東洋史学・中国哲学	殷周青銅器銘文研究
山崎教授	東洋史学	インド法制史研究
鎌田教授	印度哲学	中国仏教文献講読
鈴木教授	美術史学	中国絵画史研究
深井教授	美術史学	ペルシャ古鏡の研究
田仲助教授	中国語中国文学	西廂記
蜂屋助教授	中国哲学	三教交渉史
中村助教授	宗教学宗教史学	アラビア語イスラム文献講読

### (2) 法学政治学研究科

関教授	政治学	アジア政治外交史特殊研究
猪口助教授	政治学	計量政治学演習

### (3) 社会学研究科

松井教授	国際関係論	歴史における数量的方法
中根教授	文化人類学	社会構造の分析
松谷助教授	文化人類学	西アジア先史学
中根教授・松谷助教授	文化人類学	フィールド・ワークに関する研究指導

### (4) 理学系研究科

大野教授	地理学	地誌研究V
大野教授	地理学	地誌学演習IV

### (5) 農学系研究科

山田教授	農業経済学	国際農業論
------	-------	-------

## 2. 学部



## (1) 文学部

中根教授	社会学	文化人類学
鎌田教授	印度哲学	特殊講義
松丸教授	東洋史学	特殊講義
戸田助教授	美術史学	演習

## (2) 教養学部

中根教授	教養学科	社会の構造
大野教授	教養学科	農村地域論
大野教授	教養学科	演習
松井教授	教養学科	植民地論
松谷助教授	教養学科	技術発達史
猪口助教授	教養学部	政治学
原 助教授	教養学科	発展途上国論

## (3) 全学一般教育ゼミナール

大野教授	中東の農村(とくにイラン, アフガニスタン) [2.4]
原 助教授	アジア諸国の経済発展 [1.3]

〔昭和 56 年度〕

## 1. 大学院

## (1) 人文科学研究科

尾上教授	中国語中国文学	説唱文学研究
松丸教授	東洋史学・中国哲学	殷周青銅器銘文研究
池田教授	東洋史学	吐魯蕃文書研究
佐伯教授	東洋史学	中国資本主義の諸問題
荒 教授	東洋史学・宗教学宗教史学	中世インドの宗教と社会
山崎教授	東洋史学	インド法制史研究
鎌田教授	印度哲学	中国仏教文献講読
深井教授	美術史学	西アジア美術史演習
田仲教授	中国語中国文学	西廂記

蜂屋助教授	中国哲学		三教交渉史研究
中村助教授	宗教学宗教史学		アラビア語イスラム文献講話
戸田助教授	美術史学		中国絵画史研究
(2) 法学政治学研究科			
関 教授	政治学		アジア政治外交史特殊研究
猪口助教授	政治学		計量政治学演習
(3) 社会学研究科			
松井教授	国際関係論		歴史における数量的方法
中根教授	文化人類学		社会構造の分析
中根教授・松谷助教授	文化人類学	文化人類学	フィールド・ワークに関する研究指導
(4) 理学系研究科			
大野教授	地理学		社会地理学特論
大野教授	地理学		人文地理学演習Ⅲ
(5) 農学系研究科			
山田教授・原 助教授	農業経済学	農業経済学	国際農業論

## 2. 学 部

### (1) 文学部

大野教授	一般(学部共通)		イスラームの社会と文化
鎌田教授	印度哲学		印度哲学・印度文学特殊講義
蜂屋助教授	中国哲学		中国哲学史概説

### (2) 教養学部

大野教授	教養学科		地域研究論
松井教授	教養学科		植民地論
山田教授	教養学科		経済発展
猪口助教授	教養学部		政治学
加納助教授	教養学科		経済発展

### (3) 法学部

山崎教授	法律学		インド法
------	-----	--	------

### (4) 全学一般教育ゼミナール

加納助教授			東南アジア現代史
-------	--	--	----------



## C. 外国出張

氏名	出張先	期間	目的
関 寛治	中華人民共和国	51. 5. 4~51. 6. 1	日中友好国民協議会第4次訪中団・中国の各方面視察および国際政治学の講義と討論
松谷 敏雄	イラン, イラク	51. 5. 21~52. 3. 31	イランおよびイラクにおける古代遺跡の美術考古学的調査および発掘
深井 晋司	イラン, イラク	51. 6. 1~52. 1. 31	同上
山田 三郎	フィリピン	51. 6. 1~51. 12. 15	アジア諸国農業発展分析と開発問題解明の研究
関 寛治	連合王国, フランス スイス	51. 8. 14~51. 9. 5	世界政治学会第10回大会, 国際平和科学学会第13回ヨーロッパ大会出席および平和の理論的研究
和泉 新	中華人民共和国	51. 8. 20~51. 9. 5	北京図書館, 北京大学図書館, 蔵書・資料の調査
鎌田 茂雄	大韓民国	51. 8. 24~51. 9. 6	韓国仏教の研究
中根 千枝	ケニア, チヒオピア スイス, スウェーデン, 連合王国	51. 9. 9~51. 10. 4	日本青年海外協力隊の活動視察, 欧州日本研究者総会での特別講演と日本・スウェーデン協会の招きによる講演
関 寛治	アメリカ合衆国	51. 11. 11~51. 11. 28	「米国外交政策・第三世紀」会議出席
中根 千枝	インド, バングラデ シュ	51. 12. 13~51. 12. 30	インド・バングラデシュおよび日本の文化・社会のシンポジウム・講演会に出席
佐伯 有一	中華人民共和国	52. 3. 18~52. 4. 1	中国の諸大学, 研究機関, 博物館および史蹟の視察と意見交換
池田 温	中華人民共和国	52. 3. 18~52. 4. 1	中国の諸大学, 研究機関, 博物館および史蹟の視察と意見交換
後藤 晃	イラン, アフガニス タン, トルコ	52. 3. 23~53. 3. 31	イラン灌漑農業と農業近代化の研究
鈴木 敬	台湾, 香港	52. 3. 25~52. 4. 14	中国絵画の研究

戸田 禎佑	台湾, 香港	52. 3. 25~52. 4. 10	同上
嶋田 英誠	台湾	52. 3. 25~52. 4. 14	同上
関 寛治	アメリカ合衆国, 連 合王国, フランス, ユーゴスラビア	52. 3. 27~52. 4. 20	米国朝鮮政策の是正・解 決国際会議, 人間・社会 開発計画プログラム会議 出席および朝鮮半島の問 題について意見交換
関 寛治	アメリカ合衆国	52. 4. 29~52. 5. 5	ワシントン市で開催され る韓国問題日米専門家会 議出席
鎌田 茂雄	中華人民共和国	52. 7. 22~52. 8. 5	中国の諸寺院訪問
関 寛治	インドネシア, イン ド, ギリシア, トル コ, キプロス, エジ プト, フィンランド, スウェーデン, シリ ア	52. 7. 26~52. 8. 29	国連の役割と各国の対国 連協力の問題の研究・調 査
伊藤 亜人	アメリカ合衆国	52. 8. 5~54. 8. 4	文化人類学の研究
鎌田 茂雄	シンガポール	52. 8. 7~52. 10. 10	東南アジア華人社会の宗 教文化に関する調査
中根 千枝	カナダ, アメリカ合 衆国, ドイツ連邦共 和国, 連合王国	52. 8. 27~52. 10. 9	大学の将来に関する国際 会議, 国際人類学・民族 学会実行委員会出席, 西 ドイツの労働者の企業経 営の参加についての調査 及び社会人類学に関する 調査研究
猪口 孝	スイス	52. 9. 16~53. 9. 15	日本の国内政治および外 交政策に関する調査研究
関 寛治	アメリカ合衆国	52. 9. 17~52. 9. 24	朝鮮問題日米専門家会議 出席
鎌田 茂雄	大韓民国	52. 10. 17~52. 10. 21	日本と韓国との古代仏教 交渉に関する研究会出席
鈴木 敬	台湾	52. 10. 23~52. 10. 29	中国絵画の調査
戸田 禎佑	同上	同上	同上
嶋田 英誠	同上	同上	同上
戸田 禎佑	台湾, シンガポール 香港, マカオ	52. 12. 1~52. 12. 21	東南アジア諸国所在の中 国絵画の調査
嶋田 英誠	同上	同上	同上
中根 千枝	インド, ブータン, パキスタン, アフガ ニスタン	52. 12. 5~53. 3. 26	ヒマラヤ地区における歴 史的・社会人類学的研究



## IV 研究活動

鈴木 敬	台港, シンガポール, 香港, マカオ	52. 12. 6~52. 12. 12	東南アジア諸国所在の中国 絵画の調査
原 洋之介	タイ	52. 12. 10~52. 12. 30	タイ国中部平原農村の経 済調査
白石 隆	マレーシア, インド ネシア	52. 12. 20~53. 1. 8	農民運動関係史料の閲覧 および収集
佐伯 有一	中華人民共和国	52. 12. 27~53. 1. 11	中国の現代化政策に関す る調査・研究
尾上 兼英	中華人民共和国	52. 12. 27~53. 1. 11	中国東北地区視察および 中国文学研究者との学術 交流
田仲 一成	中華人民共和国	52. 12. 27~53. 1. 11	現代中国の文化運動に関 する調査研究
中里 成章	インド, バングラデ シュ, タイ	52. 12. 27~53. 3. 26	インド近代史関係の史料 収集
関 寛治	スイス, シリア	53. 1. 8~53. 1. 19	国連大学の人間社会発展 計画プロジェクト第2回 会議出席および国際政治 史に関する資料収集
関 寛治	フィリピン, タイ, マレーシア	53. 2. 18~53. 3. 14	東南アジア諸国のトラン スナショナル分析に関す る調査
山田 三郎	マレーシア, インド ネシア, オーストラ リア	53. 3. 5~53. 3. 15	錫の生産事情の調査
松井 透	ドイツ連邦共和国, 連合王国	53. 3. 10~53. 5. 9	インド社会とイギリス植 民地支配研究
松丸 道雄	台湾	53. 3. 24~53. 4. 16	故宫博物院収蔵の殷周青 銅器の調査
池田 温	中華人民共和国	53. 3. 29~53. 4. 14	中国華南・華中の大学, 博物館および史蹟等の視 察
大野 盛雄	イラン, トルコ, イ ラク, アフガニスタ ン	53. 5. 1~54. 4. 30	西アジア農村の社会経済 構造の研究
松谷 敏雄	イラン, イラク	53. 6. 5~53. 11. 14	イラン・イラクにおける 美術・考古学的調査
関 寛治	ドイツ連邦共和国	53. 6. 5~53. 6. 10	朝鮮問題緊急国際会議出 席
松丸 道雄	中華人民共和国	53. 7. 4~53. 7. 18	中国古代青銅器研究

和泉	新	中華人民共和国, 香港	53. 7. 5~53. 8. 20	漢籍の資料調査および学 術交流
中根	千枝	オーストリア, イン ド, スウェーデン, 連合王国, トルコ	53. 7. 13~53. 8. 11	非西欧諸国の人類学研究 に関する会議, 第9回世 界社会学者会議出席およ びヒマラヤ地区の社会人 類学的研究
尾上	兼英	中華人民共和国, 香港	53. 7. 16~53. 8. 4	中国伝統演芸の資料調査 および学術交流
田仲	一成	中華人民共和国	53. 7. 16~53. 8. 4	中国地方演劇研究
深井	晋司	イラン	53. 7. 20~53. 8. 3	イラン・イラクにおける 美術・考古学的調査
田仲	一成	香港	53. 8. 1~53. 10. 31	香港における地方劇・民 間歌謡の調査研究
鎌田	茂雄	大韓民国	53. 8. 11~53. 8. 18	韓国仏教の研究
佐伯	有一	香港	53. 8. 15~53. 3. 31	東アジア及び東南アジア 地域における文化摩擦の 現地実態調査
山田	三郎	大韓民国	53. 8. 17~53. 8. 31	経済成長, 平等, 構造変 化に関する調査
鎌田	茂雄	中華人民共和国	53. 9. 15~53. 9. 29	中国仏教の研究
関	寛治	スイス	53. 9. 15~53. 10. 13	人間社会発展計画プロジ ェクト第3回会議出席
沢谷	昭次	中華人民共和国, 香港	53. 10. 3~53. 10. 25	歴史文献資料整理の現状 視察および学術交流
鎌田	茂雄	大韓民国	53. 10. 27~53. 10. 31	韓国仏教の研究
深井	晋司	イラン	53. 10. 31~53. 11. 12	イラン・イラクにおける 美術・考古学的調査 (第 2次)
鈴木	敬	台湾	53. 11. 3~53. 11. 6	故宮博物院の中国絵画の 調査
池田	温	フランス, ドイツ民 主共和国, 台湾	53. 11. 7~53. 12. 4	東洋学に関する学術交流
中根	千枝	インド, 香港	53. 11. 26~53. 12. 25	第10回国際人類学, 民族 学会出席及び社会人類学 に関する調査研究
白石	隆	オランダ	53. 12. 20~54. 2. 19	東アジア及び東南アジア 地域における文化摩擦の 現地実態調査



## IV 研究活動

荒 松雄	インド, パキスタン, バングラデシュ, ス リランカ, ネパール	54. 1. 18~54. 2. 10	南西アジア文化交流調査 チーム
猪口 孝	大韓民国	54. 2. 8~54. 2. 12	第2回日韓知的交流会議 出席
中根 千枝	インド, ネパール	54. 2. 18~54. 3. 4	無償経済協力プロジェクト 調査
鎌田 茂雄	中華人民共和国	54. 3. 9~54. 32. 1	中国仏教に関する調査お よび学術交流
荒 松雄	オーストラリア	54. 3. 12~54. 5. 12	インド・イスラム史の研 究
山田 三郎	インドネシア, タイ	54. 3. 18~54. 3. 27	昭和53年度一次産品海外 調査
鈴木 敬	イタリア, スイス, オーストリア, チェ コスロバキア, ドイ ツ連邦共和国, フラ ンス, 連合王国, ス ウェーデン, デンマ ーク	54. 4. 2~54. 5. 26	中国絵画の調査研究
戸田 禎佑	同上	同上	同上
嶋田 英誠	同上	同上	同上
中根 千枝	インドネシア, シン ガポール	54. 4. 5~54. 4. 26	「日本の文化と社会」およ び社会人類学に関する研 究連絡
田仲 一成	香港	54. 4. 16~54. 5. 15	村落演劇の調査
関 寛治	セネガル	54. 4. 20~54. 4. 29	「開発の目標・過程・指 標」第4回会議出席
尾上 兼英	香港	54. 4. 27~54. 5. 8	廟会会景の調査
鎌田 茂雄	大韓民国	54. 4. 30~54. 5. 5	韓国仏教の研究
佐伯 有一	中華人民共和国	54. 6. 8~54. 6. 22	人文・社会科学研究に関 する視察調査
山田 三郎	タイ	54. 6. 11~54. 6. 16	1950-1975年のアジア開 発途上国における成長・ 平等・構造変化に関する 協同研究会議出席
鎌田 茂雄	大韓民国	54. 7. 13~54. 7. 16	韓国仏教の研究
鎌田 茂雄	シンガポール, マレ ーシア, 台湾	54. 8. 1~54. 10. 4	東南アジア華人社会の宗 教文化に関する調査
関 寛治	ソビエト連邦, ドイ ツ連邦共和国	54. 8. 9~54. 8. 24	国際政治学会世界大会お よび国際平和学会議出席

猪口 孝	ソビエト連邦	54. 8. 11～54. 8. 24	国際政治学会世界大会出席
山田 三郎	アメリカ合衆国	54. 8. 20～54. 8. 31	「日本の植民地 1895～1945」に関する会議出席および農業発展に関する調査
尾上 兼英	香港	54. 8. 21～54. 9. 7	香港地方劇の調査
田仲 一成	香港	54. 8. 21～54. 9. 7	東アジア及び東南アジア地域における文化摩擦の現地実態調査
中根 千枝	大韓民国	54. 9. 3～54. 9. 8	韓国学士院国際シンポジウム出席
中村廣治郎	エジプト, サウジアラビア, シリア, イラク, イラン	54. 9. 7～54. 9. 21	中東と日本との相互理解増進に関する調査
尾上 兼英	シンガポール, マレーシア, タイ, 香港	54. 9. 10～54. 11. 2	東南アジアにおける中国伝統芸能の総合的調査研究
中根 千枝	中華人民共和国	54. 9. 17～54. 9. 23	社会人類学に関する研究連絡
池田 温	フランス, 連合王国	54. 9. 28～54. 10. 7	内陸アジア発見古写本古碑銘研究国際シンポジウム出席および東アジア史に関する資料収集
佐伯 有一	中華人民共和国	54. 10. 8～54. 10. 16	中国近代史に関する学術交流
中根 千枝	連合王国, フランス, インド	54. 10. 23～54. 12. 3	国際人類学民族学会実行委員会, 国際哲学人文科学総会出席および社会人類学に関する研究連絡
鎌田 茂雄	大韓民国	54. 11. 7～54. 11. 11	韓国仏教の研究
山田 三郎	連合王国, ドイツ連邦共和国, スウェーデン, フランス, ベルギー	54. 11. 17～54. 12. 6	西欧の食糧輸入国の食糧農業政策に関する調査
中里 成章	インド, バングラデシュ	54. 12. 9～56. 12. 8	ベンガル近代史の研究
松谷 敏雄	イラク, イラン	54. 12. 14～55. 1. 2	イラク, イラン両国における考古学的調査の把握
田仲 一成	香港	54. 12. 17～55. 1. 10	日中の文化交流に関する国際シンポジウム



## IV 研究活動

山田 三郎	タイ	54.12.17~55. 1. 6	東アジア及び東南アジア地域における文化摩擦の現地実態調査
原 洋之介	タイ	同上	同上
荒 松雄	インド, マレーシア, シンガポール	55. 1.29~55. 2.28	インド・イスラム史研究上の宗教施設調査と資料蒐集
蜂屋 邦夫	中華人民共和国	55. 1.31~55. 2.14	現代化過程における中国の教育・研究の視察
中根 千枝	インド	55. 2.26~55. 3.19	文化人類学に関する調査およびチベット研究資料の収集
田仲 一成	香港	55. 2.29~55. 3. 3	元宵節演劇の調査
関 寛治	インド	55. 3. 9~55. 3.20	「もう一つの開発戦略とアジアの将来」国際会議出席
猪口 孝	イタリア	55. 3.17~55. 4. 2	日欧フローレンス会議及び欧州政治学会連合比較政治ワークショップ出席
鎌田 茂雄	アメリカ合衆国	55. 3.20~55. 3.25	アジア研究協会第32回年次集会出席
田仲 一成	香港	55. 3.25~55. 5.15	春季地方劇の調査
尾上 兼英	中華人民共和国	55. 3.25~55. 4. 6	中国江南地方の評弾研究
沢谷 昭次	中華人民共和国	55. 3.25~55. 4. 6	中国の文献整理状況調査
佐伯 有一	連合王国, フランス, ドイツ連邦共和国	55. 3.20~55. 5.29	中国近代経済史研究
山田 三郎	台湾	55. 4.23~55. 4.30	「アジア太平洋地域食糧事情と将来展望」シンポジウム出席
鎌田 茂雄	大韓民国	55. 4.30~55. 5. 4	韓国仏教の研究
鎌田 茂雄	中華人民共和国	55. 6. 1~55. 6.14	南朝の史跡・寺院の参観と仏教および宗教政策の現状視察
蜂屋 邦夫	同上	同上	同上
山田 三郎	アメリカ合衆国	55. 7.19~55. 7.27	汎太平洋地域における食料の貿易と安定確保に関する研究会出席
関 寛治	アメリカ合衆国, カナダ	55. 7.23~55. 8. 4	国連大学「開発の目標・過程・指標」プロジェクト第4回ネットワーク会議出席

大野 盛雄	イラン, トルコ, タ イ, 香港	55. 7. 23~55. 8. 22	西アジア農村の社会経済 構造の研究
鎌田 茂雄	大韓民国	55. 7. 24~55. 7. 31	韓国仏教の研究
佐伯 有一	香港	55. 8. 8~55. 10. 9	東南アジアにおける中国 伝統芸能の総合的調査研 究
尾上 兼英	同上	同上	同上
田仲 一成	同上	同上	同上
中根 千枝	台湾	55. 8. 13~55. 8. 19	社会人類学に関する研究 連絡
池田 温	台湾	55. 8. 14~55. 8. 21	国際漢学会議出席
原 洋之介	マレーシア	55. 8. 18~55. 8. 28	労働市場の調査
猪口 孝	アメリカ合衆国, ル ーマニア	55. 8. 25~55. 9. 5	米国政治学会年次大会お よび国際政治学会研究委 員会第8回大会出席
荒 松雄	中華人民共和国	55. 8. 29~55. 9. 10	中国の遺跡・墓廟の調査 視察
中根 千枝	アメリカ合衆国	55. 9. 1~55. 9. 23	国際人類学民族学連合連 絡協議会及び社会人類学 に関するセミナー出席
池田 温	中華人民共和国	55. 9. 2~55. 9. 16	敦煌千仏洞・炳靈寺石窟 の調査視察
松丸 道雄	中華人民共和国	55. 9. 14~55. 10. 2	中国古文字学術研究会第 3回年次大会出席及び中 国古代史に関する学術交 流
猪口 孝	アメリカ合衆国	55. 10. 27~55. 11. 3	「中ソ関係会議」及び「日 本研究セミナー」出席
中根 千枝	スイス	55. 11. 7~55. 11. 16	国際人類学民族学会準備 打合せ及びロレックス奨 学金選考委員会出席
清水 展	フィリピン	55. 12. 13~56. 2. 7	フィリピン社会における 子育てと子供の社会化過 程に関する調査
山田 三郎	台湾	55. 12. 16~55. 12. 23	中国, 台湾, 日本, 韓国 における農業近代化の歴 史的比較研究に関する会 議出席
関 寛治	タイ, インド, マレ ーシア, シンガポー ル, インドネシア,	55. 12. 26~56. 1. 25	イスラム圏東南アジア諸 国及びインドのエリート のレーガン政権後の対米



## IV 研究活動

	香港			対日イメージに関する調査
田仲 一成	アメリカ合衆国	55.12.31~56.1.9		中国庶民文化の価値と交流に関する会議出席
山田 三郎	台湾	56.1.24~56.1.29		台湾農業の発展と土地政策に関するセミナー出席及び土地政策調査
中根 千枝	インド	56.2.17~56.2.21		日印シンポジウム出席
中根 千枝	香港	56.2.28~56.3.10		文化人類学に関する調査研究
田仲 一成	香港	56.3.27~56.4.3		地方劇の調査
猪口 孝	アメリカ合衆国	56.3.30~56.4.4		「日米経済社会の再評価」に関する日米共同研究準備会合出席

## 受入れ外国人研究員等

## 外国人研究員等

氏名	国籍	期間	担当教官
ティモシー・J・ブルック	カナダ	54.8~56.12	佐伯教授
シンシア・プロコウ	米国	54.9~57.3	佐伯教授
ダグフィン・ガトウ	スウェーデン	55.4~56.12	佐伯教授
劉明修	中国	56.4~57.3	佐伯教授
金宅圭	韓国	56.4~57.3	中根教授
ムハマド・N・クレシ	パキスタン	56.6~57.6	関教授
鄭欽仁	中国	56.8~57.7	池田教授
韓鐘萬	韓国	56.8~57.7	鎌田教授
プラセンジット・ドゥアラ	インド	56.9~57.8	佐伯教授
高源英	カナダ	56.10~57.9	戸田助教授
何倩	中国	56.10~57.3	関教授
ロータ・レダローゼ	西独	56.10~57.3	戸田助教授

## D. 出版

### 1. 東洋文化研究所紀要

#### 第 71 冊 (昭和 52 年 3 月)

- 十五・六世紀を中心とする江南地方劇の変質について(四) 田仲 一成  
韓国村落社会における契——全羅南道珍島農村の事例—— 伊藤 亜人  
新羅における中国仏教の受容形態 蔡 沢 洙  
韓国巫業集団における血縁・婚姻関係  
——東海岸地域のタンゴルを中心に—— 崔 吉 城  
保護国の歴史的的位置——古典的研究の検討—— 田中 慎一

#### 第 72 冊 (昭和 52 年 3 月)

- 西周青銅器製作の背景——周金文研究・序章—— 松丸 道雄  
十五・六世紀を中心とする江南地方劇の変質について(五) 田仲 一成

#### 第 73 冊 (昭和 52 年 3 月)

- 元代郷村の戸等制 柳田 節子  
清代禁書——その著者たちの思考—— 岡本 さえ  
大寨生産大隊の三〇年(中) 菅沼 正久  
インドの銅板文書の形式とそのはじまりについて 山崎 利男  
中古音重紐の音声的表現と声調との関係 平山 久雄

#### 第 74 冊 (昭和 53 年 3 月)

- ハリメジャンの発掘——東京大学イラン・イラク学術調査  
第一次調査報告(1976 年)—— 深井 晋司・松谷 敏雄  
テル・サラサート遺跡の発掘——1976 年—— 松谷 敏雄・深井 晋司  
朝鮮民主主義人民共和国の農業集団化について 高瀬 浄  
地球経済モデルによる世界経済のシナリオ予測 (1975～  
1985 年) 大西 昭  
過度期経済成長の類型化——東南アジア経済発展の比較研  
究(その一)—— 原 洋之介  
減分主義の政治——日ソさけます漁業交渉, 1957 年～1976  
年—— 猪口 孝



## 第 75 冊 (昭和 53 年 3 月)

- 東南アジア華人社会における演芸 尾上 兼英  
 王坦之思想——東晋中期の莊子批判—— 蜂屋 邦夫  
 いわゆる東林派人士の思想——前近代期における中国思想  
 の展開 (上)—— 溝口 雄三  
 胡風研究ノート(一)——その理論形成期についての伝記的  
 考察—— 近藤 龍哉

## 第 76 冊 (昭和 53 年 3 月)

- ターク・イ・プスターンにおける写真測量 (1976 年)  
 深井 晋司・杉山 二郎・木全 敬蔵  
*Mahāyāna-saṃgraha* における心意識説 袴谷 憲昭  
 擬似予算編成としての交渉——世界二大漁業国間のさけま  
 す交渉, 1957 年~1977 年 猪口 孝  
 奥地山村における林業の展開と村落構造——九州山地五家  
 荘縦木部落における国・公営林業の進展をめぐって—— 宮口 侗迪  
 サルタナット期デリーの墓建築の起源について 月輪 時房

## 第 77 冊 (昭和 54 年 3 月)

- 戴逵について——その芸術・学問・信仰—— 蜂屋 邦夫  
 サミニズムとラヤット・ラディカリズム 白石 隆  
 デリーの八角平面墓建築の平面形にみられる幾何的構成方  
 式について 月輪 時房  
 イランの土地改革と農業社会の変容——農業近代化のイラ  
 ンの特徴—— 後藤 晃

## 第 78 冊 (昭和 54 年 3 月)

- 蔣嵩の山水画について——「狂態邪学」派研究の一環  
 として—— 嶋田 英誠  
 広開土王碑からみた高句麗の領域支配 武田 幸男  
 敦煌毛詩音残卷反切の研究(中の一) 平山 久雄

## 第 79 冊 (昭和 54 年 3 月)

- 瀟湘臥遊図巻について(下) 鈴木 敬  
 大寨生産大隊の三〇年(下) 菅沼 正久  
*Viniścaya-saṃgrahaṇī* におけるアーラヤ識の規定 袴谷 憲昭

## 第 80 冊 (昭和 55 年 2 月)

- イラン高原出土緑釉六曲把手付坏に関する一考察 深井 晋司
- ラメ・ザミーンの発掘——東京大学イラン・イラク学術調査, 第二次調査報告 (1978 年)—— 松谷 敏雄
- フィリピン革命のリーダーシップに関する研究 (1896 年 8 月～1898 年 4 月) 池端 雪浦
- コミンテルンにおける「民族統一戦線」の構想と展開 小杉 修二
- 敦煌毛詩音残卷反切の研究(中の 2) 平山 久雄
- 第 81 冊 (昭和 55 年 3 月)
- 最近, 我国に将来されたイスラーム時代初期の陶磁器二点について 深井 晋司
- 孫盛の歴史評と老子批判 蜂屋 邦夫
- 『北山録』訳注(一) 三教交渉研究班
- 辛亥革命の構造的検討——1911 年の中国西南地方における政治変動の社会史的意味・昆明の事例—— 湯本 国徳
- 第 82 冊 (昭和 55 年 3 月)
- 東南アジア華人社会の伝統芸能——農曆七・八・九月の祭祀と地方劇—— 尾上 兼英
- 殷王室の構造に関する一試論 持井 康孝
- 民国初期の北京における坤劇の研究 吉川 良和
- サルタナット初期のモスクにみられるスクリーン=ウオールとイーワーン——デリーにおけるモスクの形成と展開(その一)—— 月輪 時房
- 第 83 冊 (昭和 56 年 2 月)
- 東南アジア華人社会の伝統芸能——農曆七・八・九月の祭祀と地方劇—— 尾上 兼英
- 植民地インドのアヘン生産 1773～1830 年 加藤 祐三
- ベンガル藍一揆をめぐって(1)——イギリス植民地主義とベンガル農民—— 中里 成章
- フィリピン農村組織の動態——中部ルソンの米収獲制度の変化—— 菊池 真夫・速水佑次郎
- タイの地域開発と農産物流通 谷口 興二
- 第 84 冊 (昭和 56 年 3 月)
- 積華嚴教分記円通鈔の注釈的研究 鎌田 茂雄



『北山録』訳注(二)	三教交渉研究班
エジプト的性格の一側面	奴田原睦明
第 85 冊 (昭和 56 年 3 月)	
神靈化する死者——サラワク・イバン族の死生観の一側面——	内堀 基光
滞日期のファン・ボイ・チャウ(ベトナム)と雲南省活動家 との交流——	白石 昌也
技術国産化と政策介入——日本の例に見る自動車産業の アジア型定着	薬師寺泰蔵
フィローズ=シャー=ドゥグルク時代におけるモスクの 造営——デリーにおけるモスクの形成と展開(その三)——	月輪 時房
経済成長の加速度化・マレーシアと韓国との比較	原 洋之介

## 2. 東洋文化

第 57 号 (昭和 52 年 3 月)	特集	魏晉南北朝時代の思想と宗教
第 58 号 (昭和 53 年 3 月)	特集	戯曲小説
第 59 号 (昭和 54 年 3 月)	特集	西周舎文とその国家
第 60 号 (昭和 55 年 3 月)	特集	律令制の比較史的研究のために
第 61 号 (昭和 56 年 3 月)	特集	中国戯曲小説研究

## 3. 東洋文化研究所報告

1. 仁井田 陸 『中国の農村家族』 1952
2. 須藤 吉之 『中国土地制度史研究』 1954
3. 泉 靖一, 斎藤 廣志 『アマゾン——その国土と日本人』 1954
4. 大林 太良 『東南アジア大陸諸民族の親族組織』 1955
5. 結城 令聞 『世親唯識の研究 上』 1956
6. 関野 雄 『中国考古学研究』 1956
7. 窪 徳忠 『庚申信仰』 1956
8. 江上波夫他 『館址 東北地方における集落址の研究』 1958
9. 仁井田 陸 『中国法制史研究・刑法』 1959
10. 仁井田 陸 『中国法制史研究 土地法・取引法』 1960
11. 米沢 嘉圃 『中国絵画史研究』 1961
12. 結城 令聞 『唯識学典籍志』 1962

13. 仁井田 陸 『中国法制史研究 奴隸農奴法・家族村落法』 1962
14. 築島 謙三 『文化心理学基礎論』 1962
15. 窪 徳忠 『庚申信仰の研究 年譜篇』 1962
16. 仁井田 陸 『中国法制史研究 法と慣習・法と道德』 1964
17. 鎌田 茂雄 『中国華嚴思想史の研究』 1965
18. 江上 波夫 『アジア文化史研究 要説篇』 1965
19. 泉 靖一 『济州島』 1966
20. 江上 波夫 『アジア文化史研究 論考篇』 1967
21. 鈴木 敬 『明代絵画史研究・浙派』 1968
22. 窪 徳忠 『庚申信仰の研究——島嶼篇』 1969
23. 中根 千枝 『家族の構造——社会人類学的分析——』 1970
24. 窪 徳忠 『沖繩の習俗と信仰』 1971
25. 川野 重任 『農業発展の基礎条件』 1972
26. Nakamura Kojiro, *Ghazali on Prayer* 1973
27. 窪 徳忠 『増訂 沖繩の習俗と信仰』 1974
28. 鎌田 茂雄 『宗密教学の思想史的研究』 1975
29. 松井 透 『北インド農産物価格の史的研究, 1861~1921 年』 1977
30. 荒 松雄 『インド史におけるイスラム聖廟——宗教権威と支配権力』 1977
31. 池田 温 『中国古代籍帳研究——概観・録文——』 1979
32. 田仲 一成 『中国祭祀演劇研究』 1981

#### 4. イラク・イラン遺跡調査団報告

- 1958~75 『テル・サラサート I』 (1958), 『同 II』 (1970), 『同 III』 (1975)  
 1962~73 『マルブ・ダシュト I』 (1962), 『同 II』 (1962), 『同 III』 (1973)  
 1963 『ファハリアン I』 (1963)  
 1963~68 『西アジアの人類学的研究 I』 (1963), 『同 II』 (1968)  
 1965~71 『ディラマン I』 (1965), 『同 II』 (1966), 『同 III』 (1968), 『同 IV』 (1971)  
 1969~72 『ターク・イ・プスターン I』 (1969), 『同 II』 (1972)  
 1980~81 『ハリメジャン I』 (1980), 『同 II』 (1981)

#### 5. インド調査団報告

- 『デリー：デリー諸王朝時代の建造物の研究』 第 I 巻 遺跡総目録 (1967)  
 第 II 巻 墓建築 (1969), 第 III 巻 水利施設 (1970)



## E. 個人研究業績

### 荒 松雄

- 1958 『現代インドの社会と政治——その歴史的省察』 弘文堂
- 1958 「奴隸王朝前期の『奴隸貴族』について」『東洋学報』第 40 巻第 4 号
- 1964/65 「デリーに現存する奴隸王朝の墓について」『紀要』33~35
- 1967/70 『デリー：デリー諸王朝時代の建造物の研究』（山本達郎・月輪時房氏との共著）第 I 巻「遺跡総目録」、第 II 巻「墓建築」、第 III 巻「水利施設」、東京大学東洋文化研究所
- 1970 「ムスリム支配下における宗教と政治権力」『世界歴史』第 13 巻 岩波書店
- 1972 『三人のインド人——ガンジー・ネール・アンベドカル』 柏樹社
- 1977 『ヒンドゥー教とイスラム教——南アジア史における宗教と社会』 岩波書店
- 1977 『インド史におけるイスラム聖廟——宗教権威と支配権力』 東大出版会

### 佐伯 有一

- 1956 「明前半期の機匠」『紀要』8
- 1956 「明代匠役制の崩壊と都市絹織物業流通市場の展開」『紀要』10
- 1957 「日本の明清史研究における商品生産評価をめぐる」鈴木他編『中国史の時代区分』 東大出版会
- 1957 「明末の董氏の変」『東洋史研究』第 16 巻第 1 号
- 1965 「1601 年『織傭之変』をめぐる諸問題」『紀要』45
- 1967 「中国労働者階級の形成と役割」野原四郎編『中国』第 3 巻 筑摩書房

### 大野 盛雄

- 1967 『ネイシャープウルのエブラーヒーマーバードむらのモノグラフ』 テヘラン大学社会科学研究所
- 1967 “On Socio-Economic Structure of Iranian Villiages——with Special Refarence to Deh——”, *The Developing Economies*, Vol. 3.
- 1971 『アフガニスタンの農村から——比較文化の視角と方法』 岩波書店

- 1971 『ペルシアの農村——むらの実態調査』 東大出版会  
 1974 『フィールドワークの思想——砂漠の人間像を求めて』 東大出版会  
 1977 「フィールドワークの誤謬」『思想』 No. 632, 岩波書店

中根 千枝

- 1962 “The Nayar Family in a Disintegrating Matrilineal System”, *International Journal of Comparative Sociology*, Vol. III, No. 1, Sep. E. J. Brill, Leiden.  
 1966 “A Plural Society in Sikkim—A Study of the Interrelations of Lepchas, Bhotias and Nepalis”, Christoph von Fürer-Haimendorf ed., *Caste and Kin in Nepal, India and Ceylon*, Asia Publishing House, Bombay.  
 1967 *Kinship and Economic Organization in Rural Japan*, Monographs on Social Anthropology 32, London School of Economics, The Athlone Press, London.  
 1967 *Garo and Khasi: A Comparative Study in Matrilineal Systems*, Mouton & Co., Paris, The Hague.  
 1970 *Japanese Society*. Weidenfeld & Nicolson, and Penguin Books, London; University of California Press, Berkeley.  
 1970 『家族の構造——社会人類学的分析——』 東大出版会  
 1973 「沖繩・本土・中国・韓国の同族・門中の比較」『沖繩の民族学研究』 日本民族学会  
 1980 「東南アジア的社会構造の特色——人間関係についての一試論——」 山本達郎博士古稀記念『東南アジア・インドの社会と文化』(下) 山川出版社

深井 晋司

- 1966 「デーラマン地方出土帝王狩猟図銀製皿に関する一研究」『国華』 892 号  
 1967 「三花馬・五花馬の起源について」『紀要』 43  
 1968 『ペルシヤ古美術研究——ガラス器・金属器』 吉川弘文館  
 1973 『ペルシヤのガラス』 淡交社  
 1977 *Persian Glass*, Weatherhill, New York.  
 1980 『ペルシヤの古陶器』 淡交社  
 1980 『ペルシヤ古美術研究 第2巻』 吉川弘文館



- 1980 「最近我国に将来されたイスラーム時代初期の陶磁器二点について」『紀要』81

## 尾上 兼英

- 1967 「明代白話小説ノート(1)」『紀要』44  
 1970 「庶民文化の誕生」『世界歴史』第2巻 岩波書店  
 1975 「五代宋金・明・清の小説」前野直彬編『中国文学史』東大出版会  
 1978 「東南アジア華人社会における演芸」『紀要』75  
 1978 「『成化説唱詞話』試論1」『東洋文化』第58号  
 1980 「東南アジア華人社会の伝統芸能」『紀要』82  
 1980 「東南アジア華人社会の伝統芸能」『紀要』83

## 関 寛治

- 1966 『現代東アジア国際環境の誕生』福村書店  
 1969 『危機の認識』福村書店  
 1969 『国際体系論の基礎』東大出版会  
 1971 『危機の深みにたって』ダイヤモンド社  
 1977 『地球政治学の構想』日本経済新聞社  
 1977 「平和の政治学」日本政治学会年報『行動科学以後の政治学』岩波書店  
 1979 *Global Militarization and Its Remedy*, United Nations University.  
 1980 「平和研究の発展」森利一編『平和学講義』勁草書房

## 山崎 利男

- 1973 「12世紀ベンガルのセーナ朝銅板文書について」『山本達郎博士還暦記念論文集』山川出版社  
 1974/75 「ラームモーハン＝ローイの司法制度論」『紀要』64, 66  
 1976 「インドの婚姻と離婚の法」『家族：政策と法律』東大出版会  
 1978 「現代インド社会と宗教」柳川啓三編『現代社会と宗教』東大出版会  
 1979 「インドの銅板文書の形成とそのはじまりについて」『紀要』73  
 1979 「ポロックとインド法」『現代イギリス法』誠文堂

## 松井 透

- 1960 『インド史』(共著) 山川出版社  
 1968 「近代西欧のアジア観と植民地支配論」『思想』530号

- 1969 『インド史における土地制度と権力構造』(共編著) 東大出版会  
 1969 *The Indian Economy in the Nineteenth Century: A Symposium*, coauthored with M. D. Morris et al. Indian Economic and Social History Association, Dehli.  
 1972 『インド土地制度史研究』(編) 東大出版会  
 1973 「植民地支配下のインド農業——メーラト県の場合——」山田秀雄編 『植民地経済史の諸問題』アジア経済研究所  
 1977 『北インド農産物価格の史的研究(上)(下)』東洋文化研究所報告  
 1978 *A Concordance of the Names in the Cōla Inscriptions*, coauthored with N. Karashima and Y. Subbarayalu, Sarvodaya Ilakkiya Pannai, Maduras.

#### 鎌田 茂雄

- 1965 『中国華嚴思想史の研究』東洋文化研究所研究報告  
 1969 『中国仏教思想史の研究』春秋社  
 1973 『鎌倉旧仏教』岩波書店  
 1975 『宗密教学の思想史的研究』東京大学出版会  
 1978 『中国仏教史』岩波書店  
 1980 『朝鮮仏教のあゆみ』大法輪閣

#### 池田 温

- 1965 「8世紀中葉における敦煌のソグド人聚落」『ユーラシア文化研究』1  
 1968 「中国古代物価の一考察」『史学雑誌』77—1, 2  
 1971 「盛唐之集賢院」『北海道大学文学部紀要』19—2  
 1972 『大唐開元礼附大唐郊記録』(編) 汲古書院  
 1973 “T'ang household registers and related documents”, ed. by A. Wright & D. Twitchett, *Perspectives on the T'ang*, Yale Univ. Press, New Haven.  
 1973/75 「中国古代の租佃契(上)(中)」『紀要』60, 65  
 1979 『中国古代籍帳研究 概観・録文』東京大学出版会  
 1980 『敦煌の社会』(編)〈講座敦煌3〉大東出版社

#### 山田 三郎

- 1966 『長期経済統計 第9巻 農林業』(共著) 東洋経済新報社



- 1968 『世界の商品Ⅲ——錫——』（アジア経済調査研究双書第156集）  
アジア経済研究所
- 1971 『韓国工業化の課題』（編著）（アジア経済調査研究双書第193集） アジア  
経済研究所
- 1974 「アジア農業の生産性と生産構造——マクロ計量的国際比較分析——」『紀  
要』63
- 1975 *A Comparative Analysis of Asian Agricultural Productivities and Growth  
Patterns*, Asian Productivity Organization, Tokyo.
- 1975 *A Century of Agricultural Development in Japan, Its Relevance to Asian  
Development*, coauthored with Y. Hayami et al., University of Min-  
nesota Press, Minneapolis, and University of Tokyo Press, Tokyo.
- 1980 “International Comparisons of Productivity in Agriculture”, coau-  
thored with Vernon W. Ruttan, J. Kendrick and B. Vaccara, eds.,  
*New Developments in Productivity Measurement and Analysis*, Studies  
in Income and Wealth, Vol. 44, University of Chicago Press for the  
National Bureau of Economic Research, Chicago.
- 1980 「アジアの食糧需給の現状と展望」川野重任編『アジアの食糧生産——開  
発と需給』（研究参考資料 285）アジア経済研究所

## 松丸 道雄

- 1959 『甲骨文字』奎星会出版部
- 1959/80 「日本散見甲骨文字蒐彙」『甲骨学』7~12号
- 1963 「殷墟卜辞中の田獵地について」『紀要』31
- 1970 「殷周国家の構造」『世界歴史』第4巻 岩波書店
- 1973 *Oracle Bones: Essays on the Sources for Chinese History*, Australian  
National University Press, Canberra.
- 1976 『新編金石学録』（編）汲古書院
- 1980 『西周青銅器とその国家』（編）東大出版会
- 1980 「甲骨文偽作問題新探」『池田末利博士古稀記念東洋学論集』同事業会

## 田仲 一成

- 1970 「南宋時代の福建地方劇について」『日本中国学報』第22号
- 1972 “Development of Chinese Local Plays in the 17th and 18th Centu-

ries”, *Acta Asiatica*, No. 23.

- 1973/77 「十五・六世紀を中心とする江南地方劇の変質について」『紀要』60, 63, 65  
71, 72
- 1977 “A Study on P‘i-p‘achi in Huichou Drama—Formation of Local Plays  
in Ming and Ch‘ing Eras and Hsin-an Merchants—” *Acta Asiatica*,  
No. 32.
- 1981 『中国祭祀演劇研究』東京大学東洋文化研究所報告

#### 中村廣治郎

- 1971/72 「ガザリーの神秘修行論 I, II」『紀要』53, 57
- 1971 “A Structural Analysis of *Dhikr* and *Nembutsu*” *Orient* VII.
- 1973 *Ghazali on Prayer*, 東京大学東洋文化研究所報告
- 1974 (翻訳) W. C. スミス『現代におけるイスラム』紀伊国屋書店
- 1977 『イスラム——思想と歴史』東大出版会
- 1977 『宗教理解への道』(田村他共著) 東大出版会
- 1978 「伝統と革新」『思想』No. 651
- 1980 (翻訳と解説) R. A. ニコルソン『イスラムの神秘主義』東京新聞出版局

#### 戸田 禎佑

- 1971 「鹿王院釈迦三尊図について」『美術研究』267
- 1972 「中国絵画における形態の伝承」『紀要』57
- 1973 「牧谿・玉澗」『水墨美術大系』講談社
- 1977 『海外所在中国絵画目録, アメリカ・カナダ編』(鈴木敬共編) 東京大学東  
洋文化研究所東洋学文献センター
- 1979 『日本屏風絵集成』講談社
- 1980 『漢画系人物画』講談社

#### 松谷 敏雄

- 1969 「初期農耕村落の研究」『紀要』47
- 1972 「ピゼとチネ」『紀要』58
- 1973 *Marv-Dasht III* (編) 東京大学東洋文化研究所
- 1974 「西アジアの特異な石器〈サイド・ブロー・プレイド・フレイク〉」『東洋文  
化』54号



- 1975 *Telul eth-Thalathat III*. (編) 東京大学東洋文化研究所  
 1977 “Excavations at Telul eth-Thalathat, 1976” *Sumer*, XXXII, No. 1.

## 蜂屋 邦夫

- 1966 「中国的心性についての試論」東京大学教養学部『比較文化研究』第6号  
 1968 「莊子逍遙遊篇をめぐる郭象と支遁の解釈」東京大学教養学部『比較文化研究』第8号  
 1973 「范縝『神滅論』の思想について」『紀要』61  
 1978 「王坦之の思想」『紀要』75  
 1979 「戴逵について」『紀要』77  
 1980 「孫盛の歴史評と老子批判」『紀要』81

## 猪口 孝

- 1970 『国際関係の数量分析：北京・平壤・モスクワ，1961年—1966年』巖南堂書店  
 1972 “Measuring Friendship and Hostility among Communist Powers: Unobtrusive Measures of Esoteric Communications”, *Social Science Research*, Vol. 1, No. 1.  
 1978 『外交態様の比較研究：中国・英国・日本』巖南堂書店  
 1978 “The Politics of Decrementalism: The Soviet-Japanese Salmon Catch Negotiations, 1955~1977”, coauthored with N. Miyatake, *Behavioral Science*, Vol. 23, No. 6.  
 1979 “Negotiation as Quasi-Budgeting: The Salmon Catch Negotiations between Two World Fishery Powers”, coauthored with N. Miyatake, *International Organization*, Vol. 33, No. 2.  
 1980 “Economic Conditions and Mass Support in Japan, 1960~1976”, Paul Whiteley, ed., *Models of Political Economy*, Sage, London.  
 1981 “Explaining and Predicting Japanese General Elections, 1960~1980”, *Journal of Japanese Studies*, Vol. 7, No. 2.  
 1981 “Political Science in Japan”, W. G. Andrews, ed., *International Handbook of Political Science*, Connecticut: Greenwood Press.

## 原 洋之介

- 1974 「インドネシアのインフレーションと経済成長」『紀要』62

- 1975 「インドネシアにおける政治的リーダーシップと経済政策」『紀要』67
- 1976 「ジャワ米穀経済への高収量品種の移転・普及・定着」『紀要』69
- 1978 「過渡期経済成長の類型化」『紀要』74
- 1980 “Technological Innovations in Rice-Production and Land-Labor Markets in a Village of Central Thailand”, *Rural Development : Issues for Comparative Analysis*, 日本国際開発センター
- 1981 「経済成長の加速度化：マレーシアと韓国の比較」『紀要』85
- 1981 「二者関係経済における労働市場の構造——タイ国工業化論序説——」『東洋文化研究所 40 周年記念論集』
- 1981 『マレーシアの労働事情——新しい経済政策と労働社会の実態』日本労働協会

#### 加納 啓良

- 1976 「デサ共同体に関する一考察」『アジア研究』第 22 巻第 4 号
- 1977 *Land Tenure System and the Dase Community in Nineteenth Century Java*, I. D. E. Special Paper No. 5, Institute of Developing Economies., Tokyo.
- 1979 『パグララン——東部ジャワ農村の富と貧困——』（アジア経済研究所研究参考資料第 272 集）
- 1979 「ジャワ農村経済史研究の視座変換——“インボリューション・テーゼ”の批判的検討——」『アジア経済』第 20 巻第 2 号
- 1980 “The Economic History of Javanese Rural Society : A Reinterpretation”, *The Developing Economies*, Vol. XVIII, No. 1, Tokyo.
- 1980 「農業問題の中部ジャワ的構造——ジョクジャカルタ特別区の事例に即して——」『アジア経済』第 21 巻第 4, 5 号
- 1981 『サワハン——「開発」体制下の中部ジャワ農村——』（アジア経済研究所研究双書第 299 集）

#### 持井 康孝

- 1973 「1972年の歴史学界——回顧と展望——東アジア・中国, 殷・周」『史学雑誌』第 82 編第 5 号
- 1979 「殷周青銅器の変遷」『世界の美術』第 88 号 朝日新聞社
- 1979 「戦国・秦漢青銅器」『世界の美術』第 89 号 朝日新聞社
- 1980 「殷王室の構造に関する一試論」『紀要』82



#### IV 研究活動

- 1980 「西周時代の成周鑄銅工房について——洛陽出土の熔范をめぐって」松丸道雄編『西周青銅器とその国家』東京大学出版会
- 1980 「日本所見殷周青銅器集録(1)」(松丸道雄氏と共同執筆)『甲骨学』第12号
- 1981 「殷虚西北岡出土の魚鼎と亜守鼎——殷代青銅器研究試錐(1)——」『東洋文化研究所紀要40周年記念論集』

#### 森山 茂徳

- 1975 「近代日韓関係史研究の動向と史料及び文献——甲午改革研究を中心として——」『国家学会雑誌』第88巻第11,12号
- 1976 「甲午改革における借款問題——井上馨の関与した第二次改革と朝鮮指導者層の対応を中心として——」『東洋学報』第56巻第2,3,4号
- 1976 『上原勇作関係文書』(共編)東京大学出版会
- 1977 『伊藤博文関係文書』第5巻(共編)塙書房
- 1978 『伊藤博文関係文書』第6巻(共編)塙書房
- 1980 「朝鮮における日本とベルギー・シンディケート——その経済的共同行動の挫折——」『年報・近代日本研究—2; 近代日本とアジア』山川出版社
- 1981 「日清・日露戦間期における日韓関係の一側面——在日朝鮮人亡命者の処遇問題——」『東洋文化研究所紀要40周年記念論集』

#### 小川 裕充

- 1979 「浦上玉堂東雪節雲図」山根有三編『日本絵画百選』日本経済新聞社
- 1980 「華北と江南」戸田禎祐編『五代・宋時代の絵画と書』『週刊朝日百科 世界の美術』94号
- 1980 「唐宋山水画におけるイメージーション」『国華』第1034,1035,1036号
- 1980 「郭熙筆 早春図」『国華』第1035号
- 1981 「院中の名画——董羽・巨然・燕肅から郭熙まで」『鈴木敬先生還暦記念中国絵画史論集』吉川弘文館
- 1981 「雲山図論——『雲山図巻』(クリーヴランド美術館)について」

#### 加藤 博

- 1976 「中世エジプト貨幣政策」『一橋論叢』第76号巻第6号
- 1977 「貨幣史からみた後期エジプト社会」『社会経済史学』第43巻
- 1980 「19世紀後半のエジプト土地・税制度」『オリエン特』第23巻第1号

- 1980 「19 世紀エジプト土地制度史研究——学界事情と史料紹介——」『一橋論叢』第 86 卷第 6 号
- 1980 “Egyptian Village Community under Muhammad ‘Ali’s Rule—An Annotation of “Qanun al-Filāha””, *Orient*, Vol. XVI.

#### 清水 展

- 1981 「Mt. Pinatubo 南西麓ネグリート社会における結婚と婚資：集団構成の変容をめぐる」『民族学研究』第 46 卷 1 号
- 1981 「Mt. Pinatubo ネグリオートの経済生活：定着犁耕農業プロジェクトの成否を中心として」『東洋文化研究所紀要 40 周年記念論集』

#### 久保 亨

- 1978 「1920 年代末中国の黄色工会」『中国労働運動史研究』第 2 号
- 1979 「国民革命期の武漢労働運動に関する覚書」『中国労働運動史研究』第 6・7 合併号
- 1980 「南京政府の関税政策とその歴史的意義」『土地制度史学』第 86 号
- 1980 「1930 年代中国の関税政策と資本家階級」『社会経済史学』第 47 卷 1 号
- 1981 「幣制改革以降の中国経済」野沢豊編『中国の幣制改革と国際関係』東京大学出版会

#### 福井 清一

- 1980 「互惠的刈分小作労働慣行へのゲーム論的接近」『農業経済研究』第 51 卷 4 号
- 1980 「伝統的労働慣行の変容に関する均衡論的分析」『アジア経済』第 21 卷 6 号
- 1980 「農地改革・二人関係・刈分小作——米作農村の事例より——」『農林業問題研究』第 16 卷 3 号



## F. 図 書

### 1 概 要

図書室は漢籍を中心として約 35 万点を蔵し、年間、約 7,500 人が利用している。従来から強い分野である中国研究や朝鮮研究における蔵書に加え、その他のアジア地域についての蔵書も近年着実に増加している。図書室は日本における東洋研究の三大図書館のひとつとして数えられている。

### 2 図書・資料類

昭和 55 年 4 月 1 日現在の著書類（但し、未整理図書・マイクロフィルム・マイクロフィッシュを含まない）は次の如くである。

和・中・朝文図書	273,865 冊
欧文図書	41,539 冊
合 計	315,404 冊
和・中・朝文雑誌	
和文	1,856 種
中文	986 種
朝文	278 種
小計	3,120 種
欧文雑誌	731 種
合 計	3,851 種

### 中国関係・主要所蔵図書

〔大木文庫の受贈〕 本研究所創設の当初、大木幹一氏より中国法制関係書総数 3,168 部、45,452 冊の寄贈を受けた。法律のみならず、政治、外交、経済、産業などの研究上、実用に供し得る意味での貴重書が多く、明代以後の時期の研究にはとくに欠くことのできない蒐集資料である。いわゆる官箴や公牘の類の数百部は、本文庫のひとつの柱梁をなしている。その目録は昭和 34 年旧蔵者の原本により編纂刊行された。

〔帝国学士院東亞諸民族調査室蔵書の移管〕 昭和 19 年帝国学士院東亞諸民族調査室の解散にともない。その蔵書漢洋・雑誌・資料等 2,000 冊が移管された。これらのうちには西欧における東亞諸民族研究の主要なものが集められている。

〔旧東方文化学院図書の移管〕 東方文化学院東京研究所は、昭和 4 年に東洋文化の

総合研究の機関として創設され、外務省の所管に属したが、昭和 23 年廃せられた。昭和 42 年 3 月その旧蔵書の和漢洋あわせて 103,587 冊が本研究所に移管された。

〔松本忠雄氏旧蔵書〕 昭和 25 年度科学研究費交付金により、松本忠雄氏旧蔵の和漢洋書、雑誌など 3,000 冊を購入した、これはとくに近代中国研究資料として重要なものを多く含んでいる。

〔長沢規矩也氏蔵書〕 昭和 26・28 両年度科学研究交付金により、長沢規矩也氏の蔵書約 3,000 冊を購入した。その内容は明清時代の戯曲小説類で、貴重書も少なくなく、中国文学研究上重要な資料である。昭和 36 年 11 月本研究所創立 20 年に当り、同氏から約 150 冊の補充を得るとともに双紅堂文庫分類目録を刊行した。

〔清野謙次氏旧蔵書〕 昭和 27・28 両年度科学研究費交付金により、清野謙次氏旧蔵洋書 570 冊を購入した。人類学・考古学関係のものを根幹とする貴重なコレクションである。

〔矢吹慶輝氏旧蔵書〕 昭和 27 年度科学研究費交付金により、矢吹慶輝氏旧蔵洋書約 360 冊を購入した。英・仏・独のマニ教関係の文献がその中心をなし、他に仏教遺跡の発掘報告書も含まれている。

〔下中文庫〕 本文庫は下中弥三郎氏の寄贈にかかる。昭和 28 年 1 月より 32 年 6 月に至るまで、戦後出版の中国書 4,500 冊、中国雑誌 10 種及び戦後出版の東洋関係書 130 冊を受贈した。特に中国書はその主要なものをほとんど網羅し、戦後の中国研究に対し重要な資料となるものである。

〔東京銀行調査部所蔵資料〕 昭和 34・35 両年度にわたり東京銀行調査部所蔵の経済関係書を主とする和洋書・資料類約 18,000 冊の寄贈を受けた。

〔仁井田陸氏旧蔵書〕 本研究所元所長仁井田陸氏の逝去（昭 41・6・22）後、所蔵の中国書 5,000 冊、和書 2,200 冊、洋書 120 冊、清代公私文書類 900 余点、50 基の碑文拓本を受入れた。これらの図書資料は、大木文庫とともに旧中国の社会研究に極めて重要なものである。

そのほか、昭和 33 年度から 3 カ年にわたって文部省「アジア地域の社会・経済構造」総合研究の一環として、その資料（主として洋書）1,800 冊を購入し、さらに昭和 36 年度から 40 年度まで文部省機関研究および特定研究「アジア社会の近代化と文化の変動」により継続して蒐書に努めて、総数 4,771 冊に達した。

〔倉石武四郎氏旧蔵書〕 昭和 50 年度末に至り、本学名誉教授故倉石武四郎氏の漢籍を主とする蔵書を収蔵することとなり、一部はすでに購入したが、今後継続して整理選択して受入れる予定である。

その他の収蔵品として



中国古銭・銭範約 1,270 点、瓦当約 110 点のほか、殷墟出土甲骨片、鏡・戈・鏹等青銅器、玉器・石器・土器、磚・磚製買地券、壁画片・俑・仏像、服装・室内装飾品・土俗品等計約 120 点がある。

### 主要収蔵資料

#### A. 中世インド・イスラム史跡調査関係資料

デリーおよびインド各地に現存するいわゆる、サルタナット時代のムスリム遺跡に関する資料で、各種サイズの写真、実測図などが主なものである。これらの資料は 1959～62 年にわたって「東京大学インド史跡調査団」が実施した 2 回にわたる現地調査の成果の一部で、とくにニューデリーとその周辺地域に現存する建造物の資料は、今日までに消滅してしまったものがあるだけに、南アジアや諸外国にも見られない貴重な資料を含んでいる。

#### B. 中国絵画資料（原版・焼付写真・カラースライド等）

米国、カナダ、欧州諸国、東南アジア諸国の美術館、個人蒐集家が所蔵する中国絵画および日本に現存している中国絵画に関するものが主体となっており、その他に米国ミシガン大学アーカイヴより購入した中国絵画の焼付写真、東京国立文化財研究所原版からの焼付写真等があつて、現在、中国絵画に関する写真資料の集積としては世界有数の質量を備えている。

#### C. 殷代甲骨

当研究所蔵甲骨は、次の 3 部分から成る。第 1 は、故・河井仙郎氏旧蔵の 1708 片で、これは昭和 54 年に、現蔵者・井上富美子氏より、寄贈された。第 2 は故・田中慶太郎氏旧蔵の 393 片で、これは、昭和 54 年に、購得した。第 3 は旧蔵者三浦清吾氏より寄贈された 2 片である。合計 2103 片に達し、京大人文学研究所に次ぐ、有数の蒐集である。詳細は、松丸「日本蒐儲の殷墟甲骨について」（東洋文化研究所紀要第 87 冊所収予定）を参照されたい。近く『東京大学東洋文化研究所所蔵甲骨文字』として、当研究所より刊行の予定である。

#### D. 西アジア考古資料

人類文明の起源、東亜および日本古代文明の源流としての古代イラン文明の研究を目的として、昭和 31 年以来、東京大学イラク・イラン遺跡調査団がイラク・イラン両国における遺跡 14 箇所を発掘・調査の結果収集したものである。その数は数万点に達し、これらはここ 10 年来各国が遺物の分与、流出を厳禁している今日では甚だ貴重な資料である。特にその大部分は発掘品で考古学上第一級資料であることに意義がある。

- (1) 石器類。旧石器時代から新石器時代におよぶ各種の石器。特に半月形石刃や梯形石刃が数千点に達している。
- (2) 土器類。数万点の多種多様の有文土器片と完形品は新石器時代の文様研究上ばかりではなく、当時の生活や宗教を考える上の重要資料である。また、青銅器時代末期からパルティア時代の遺跡デーラマンからの灰黒土色や赤褐色土器の完成品を多数所蔵し、中に中国の黒陶類似のものもあり学界の注目を受けている。
- (3) 骨角器。数は少いが、錐、針、篋等がある。
- (4) 銅製品。主として前記のデーラマンから出土した数十本の銅剣、銅鏃、銅矛などの利器の外に鏡、轡、皿、鉢、釧、指輪、安全ピン、胸当、針、髪飾のピン、動物像などがある。
- (5) 鉄製品。デーラマンの古墓から出土した鉄剣、鉄刀子、鉄矛が多数ある。
- (6) 金銀製品。金製帯、金製装身具（ペンダント・首飾用の玉類）などがある。
- (7) ガラス製品。ガラス瓶、ガラス玉等。
- (8) 玉類。瑪瑙製、トルコ玉など、石質の種類は少ないが数は多い。
- (9) 建造物類。ドウラ・ユーロボスの騎馬人物のストゥッコ、同じく壁画断片、バルミラの建築装飾断片、ペルセポリスなどの建築装飾品断片などがある。
- (10) 其の他。粘土板文書、土製釘、印章類、形象土器、イスラム陶器など多数所蔵している。

#### E. 中国近世および近代の文書資料

17・18世紀より20世紀初におよぶ、北京をはじめ、上海、蘇州、嘉興県、武進県、宝応県等の、地主・典舗・諸種商店等の多様な文書類約千数百点。仁井田陞名誉教授旧蔵遺贈分や旧東亜研究所収集文書等を含む。現在東アジア部門の歴史・経済・政治関係者が所外の研究者と協力して整理中。



## V 東洋学文献センター

本文献センターは、東洋学に関する文献・情報を収集し、国内外の研究者に対し、各種のドキュメンテーション・サービスを行なうことにより、東洋学研究の格段の発展を期するものとして、昭和 41 年度に本研究所に設置された。発足以来、以下の各項の諸事業にとりくんできた。

### 1. 基本資料の収集

第一期 3 ケ年計画で、近・現代中国、朝鮮刊行物等若干の資料収集と整理を進め、一応所期の目的を達成したのち、引き続き、次の三種類の文献につき、その収集に努めている。

- (1) 中国・朝鮮の近・現代文献、特に逐次刊行物
- (2) 旧中国の政治・法律文献
- (3) 旧中国の戯曲・小説文献

### 2. 『東洋文化研究所漢籍分類目録』の編纂、刊行

昭和 42 年以來、重点的に本事業を推進し、昭和 47 年度に『本文篇』(A 4 版, 1174 頁), 次いで昭和 49 年度に『索引篇』(A 4 版, 書名索引 352 頁, 人名索引 446 頁, 検字表 39 頁, 計 837 頁) を刊行した。

### 3. 『東洋学文献センター叢刊』の編纂、刊行

東洋学研究者のための書誌、資料等のドキュメンテーション活動として、昭和 42 年度以來、本叢刊を編纂、刊行し、昭和 55 年度までに、第 36 輯(他に別輯 3 点)に達した。

- 第 1 輯 東洋文化研究所東洋学文献センター 新収図書目録 (昭和 41 年度)
- 第 2 輯 清代地方劇資料集 (一)
- 第 3 輯 清代地方劇資料集 (二)
- 第 4 輯 周揚著訳論文周揚批判文献目録
- 第 5 輯 郁達夫資料
- 第 6 輯 東洋文化研究所東洋学文献センター 新収図書目録 (昭和 42・43 年度)
- 第 7 輯 朝鮮研究文献目録 単行書篇 (上)
- 第 8 輯 朝鮮研究文献目録 単行書篇 (中)
- 第 9 輯 朝鮮研究文献目録 単行書篇 (下)
- 第 10 輯 李大釗文献目録
- 第 11 輯 明刊元雜劇西廂記目録
- 第 12 輯 朝鮮研究文献目録 単行書篇・編著者名索引
- 第 13 輯 魯迅全集注釈索引
- 第 14 輯 1930 年代中国文芸雑誌 (一)
- 第 15 輯 朝鮮研究文献目録 論文・記事篇 (I)
- 第 16 輯 朝鮮研究文献目録 論文・記事篇 (II)
- 第 17 輯 朝鮮研究文献目録 論文・記事篇 (III)
- 第 18 輯 郁達夫資料補篇 (上)
- 第 19 輯 切韻殘卷諸本補正
- 第 20 輯 目録学
- 第 21 輯 花間集索引
- 第 22 輯 郁達夫資料補篇 (下)
- 第 23 輯 仁井田陞博士輯 北京工商ギルド資料集 (一)
- 第 24 輯 江西蘇区文学運動資料
- 第 25 輯 仁井田陞博士輯 北京工商ギルド資料集 (二)
- 第 26 輯 民国以来人名字号別名索引
- 第 27 輯 自一九二七年日本現存<sup>短期</sup>至一九三七年<sup>零本</sup>中国雜誌記事総目 (一)
- 第 28 輯 仁井田 陞 博士 輯 北京工商ギルド資料集 (三)
- 第 29 輯 中国左翼文芸理論における翻訳・引用文献目録
- 第 30 輯 仁井田 陞 博士 輯 北京工商ギルド資料集 (四)
- 第 31 輯 儀礼疏攷正 (上)
- 第 32 輯 儀礼疏攷正 (下)



- 第 33 輯 <sup>仁井田 陸</sup> <sub>博士 輯</sub> 北京工商ギルド資料集 (五)  
 第 34 輯 小説月報第 11 卷～第 22 卷総目次・外国人名索引  
 第 35 輯 コミンテルン定期刊行物中国関係論説・記事索引  
 第 36 輯 魯迅文言語彙索引

- 別 輯 1 東京大学東洋文化研究所漢籍分類目録 <sup>書名索引</sup> <sub>人名索引</sub> 併合 四角号碼檢字表  
 京都大学人文科学研究所漢籍分類目録 <sup>書名通檢</sup> <sub>人名通檢</sub>  
 別 輯 2 海外所在中国絵画目録 (アメリカ・カナダ編)  
 別 輯 3 海外所在中国絵画目録 (東南アジア・ヨーロッパ編)

今後は、初見、和泉各講師を中心とする本文献センター独自の編纂プロジェクトを推進して行く方針である。

#### 4. 「センター通信」の編集、刊行

センターの活動を広く利用者に知らせるとともに、利用者の意見を載せる場として、「センター通信」(年1～2回、不定期)を編集、刊行し、昭和55年3月現在、第21号に達している。編集は本文献センター全員が当たっている。

#### 5. 全国漢籍総合目録の作成 (漢籍所在調査)

全国各地に未整理のまま散在する重要漢籍の所在を調査し、将来全国漢籍総合目録が作成されることを期待し、本センターは、その基礎的な人員と組織づくりに寄与するための限時計画のもとに、昭和46年度より各地機関の予備調査を開始、昭和48年度に本調査に着手、昭和55年3月現在、熊本大学附属図書館落合文庫、八戸市立図書館、長崎大学附属図書館経済学部分館、新発田市立図書館の所蔵漢籍を目録化し、続いて新潟大学附属図書館について調査を実施している。現在、和泉講師が担当している。

#### 6. 漢籍分類目録未収書の補完

2. の『東洋文化研究漢籍分類目録』編纂の過程で、20数万冊の蔵書の構成に若干の片寄りがあり、特に経部書、集部書、叢書部書に補充すべき漢籍が少ないことが明らかになったため、昭和50年度より、これらの未収書で他機関の所蔵するものをマイクロフィルムで補充する計画を推進している。

## 7. 漢籍担当職員講習会及び漢籍担当職員長期研修

5. の漢籍所在調査限時計画の円滑な運営を目的として、昭和 47 年度以来、全国各地の図書館の漢籍担当職員に対し、文部省との共催で、漢籍目録実務の講習を行なっている。昭和 55 年度までに 9 回、受講者は 100 機関、延 224 人に達している。また更に、上記計画の充実な実効を挙げるため昭和 55 年以來、上記講習会の受講者を対象に、講義・実習の両面にわたる長期（110 日間）の個別指導を行い、漢籍整理に関する専門知識と技能を習得させ、応用能力の向上と育成をはかるための研修を実施している。第 1 回受講者 3 名。



---

昭和 56 年 11 月 16 日 第 1 刷発行  
昭和 57 年 1 月 20 日 第 2 刷発行

東京都文京区本郷 7-3-1

編集兼  
発行 者 東京大学東洋文化研究所

東京都千代田区内神田 1-12-5

印刷所 株式会社 三 秀 舎

---